

2021 年度ガバナンスフォーラム

《今年度統括テーマ》

【日本企業ガバナンスの現況と課題そして変革のシナリオ】

期 間 2021 年 4 月～2022 年 3 月(毎月 1 回全 11 回) 18:30～20:00
会 場 経営研究所 会議室(オンライン)
定 員 20 社(年度途中のご参加も可能です)
年会費 1 社 300,000 円(経営研究所維持会員は 10%割引、分納可)

【全体監修】

富山 和彦 (株式会社経営共創基盤 IGPI グループ会長／
株式会社日本共創プラットフォーム(JPiX)代表取締役社長／
公益社団法人経済同友会政策審議会委員長)

【コーディネータ】

奥村 昭博 (慶應義塾大学名誉教授)
内野 崇 (学習院大学名誉教授)

【アドバイザー】

村田 恒子 ((株)日本政策金融公庫 社外監査役／(株)ミルボン 社外取締役／
(株)カクヤスグループ 社外取締役)

一般社団法人 経営研究所

【2021 年度 ガバナンスフォーラムのご案内】

国際政治の激変、経営のグローバル化、IT革命の進展、技術進歩のスピード加速、市場の多様性と複雑性、そしてリスクの増大等、今ほど、経営(者)の質、経営意思決定の正否、経営の仕組みが問われる時代はない。本フォーラムでは、我が国の企業ガバナンスの現状と課題、これからのガバナンスのあり方―取締役会の機能、委員会等を含めた諸会議の運営、ステークホルダーとの関係、人事・報酬の決定、情報開示の方針、経営チェック体制の整備等―について、基本的な論点整理を行い、具体的な実践のためのガイドラインの提示をめざす。また参加メンバー間の意見交換と情報共有の場としたい。

主たる対象者は、現役の役員の皆様、トップマネジメント(取締役会、常務会、戦略経営会議等の経営会議、また、監査役会設置会社、指名委員会等設置会社、監査等委員会設置会社、経営諮問委員会等)を担う“担当事務局”例えば、社長室、役員室、秘書室、に加え、関連する戦略企画室、人事部、総務部等一の責任者又はそれに続く次世代の皆様をコアメンバーとする。

毎回、貴重なご提言を導き糸に、参加企業の皆様とのディスカッションを通じて、今後のガバナンスのあり方、トップマネジメント体制のあり方を問い直し、各社にふさわしいガバナンス変革の方向とシナリオを構想する『場の構築』をめざしたいと考えます。それは一方で改正ガバナンスコードの要請たる、“トップマネジメントのより一層の戦力化と充実”に込めていく『場作り』につなげたいと存じます。多くの企業の関係部門の皆様のご参加を希望します。

【2021 年度 年間予定】

(原則第 2 水曜日、18:30～20:00)

第 1 回	4 月 14 日(水)	「これからのガバナンスのあり方を展望する」 渋谷 高弘 氏(日本経済新聞東京本社 編集局編集委員室 編集委員)
第 2 回	5 月 12 日(水)	「CEO 後継者計画の実態と課題」 安田 結子 氏(株式会社ボードアドバイザーズ シニアパートナー)
第 3 回	6 月 9 日(水)	「ESG経営から見えている企業の未来」 根本 直子 氏(早稲田大学大学院経営管理研究科 教授)
第 4 回	7 月 14 日(水)	「日本企業の PMI の現実と課題～グループ経営とグループガバナンスを中心に」 岡 俊子 氏(株式会社岡&カンパニー 代表取締役/ 明治大学グローバル・ビジネス研究科専任教授)
第 5 回	9 月 8 日(水)	「欧州の経営ガバナンスからみた日本企業の経営とガバナンスの課題」 中空 麻奈 氏(BNP パリバ証券グローバルマーケット 統括本部副会長)
第 6 回	10 月 13 日(水)	「ガバナンスコード再改訂に見るマネジメントへの要請」 松田 千恵子氏(東京都立大学大学院経営学研究科 教授)
第 7 回	11 月 10 日(水)	「新規事業創造に向けてのスピノフと親子上場」 吉村 典久氏(大阪市立大学大学院経営学研究科 教授/ 和歌山大学名誉教授)
第 8 回	12 月 9 日(木) (合同研究会) ※木曜日開催	「海外 M&A と買収後の PMI とガバナンス」 新貝 康司氏(日本たばこ産業株式会社 元代表取締役副社長兼副 CEO)
第 9 回	1 月 12 日(水)	「シダックスのグループ経営について」 柴山 慎一 氏(シダックス株式会社 取締役専務執行役員 兼 グループ経営戦略・経営管理本部長)
第 10 回	2 月 9 日(水)	「これからの日本企業のガバナンスをめぐって」 加護野 忠男 氏(神戸大学名誉教授)
第 11 回	3 月 9 日(水)	「総括」 富山 和彦(株式会社経営共創基盤 IGPI グループ会長)

*テーマは変更になる場合がございます。8 月は夏休みにて休会となります。

2020 年度ガバナンスフォーラム テーマ・ご提言者一覧

- 「コーポレートガバナンス改革の進化～「形式」から「実質」へ～」 高橋 秀行氏(共立株式会社取締役会長)
- 「事業再編研究会における検討状況について」 坂本 里和氏(経済産業省経済産業政策局総務課長)
- 「経営者報酬ガバナンスの行方」 内ヶ崎 茂氏(HR ガバナンス・リーダーズ株式会社代表取締役社長 CEO/
三菱 UFJ 信託銀行 HR 戦略コンサルティング室長・プリンシパル)
- 「親子上場と経営のガバナンスについて」 太田 洋氏(西村あさひ法律事務所パートナー弁護士)
- 「会社法・CG コードをふまえたガバナンス再興戦略 Part2 ガバナンス向上に向けた課題について」
松山 遙氏(日比谷パーク法律事務所パートナー弁護士)
- 「活気あふれる組織風土に向けたガバナンス・コンプライアンス・リスクマネジメント」
村田 恒子氏(日本政策金融公庫社外監査役/フジクラ社外取締役)
- 「日本における社長後継と経営者育成の課題」 岩上 順一氏(エゴンゼンダー株式会社金融グループ責任者)
- 「当社の成長戦略と経営ガバナンスについて」 黒川 明氏(参天製薬株式会社代表取締役会長)
- 「日本のコーポレートガバナンスの進展とガバナンス」
神田 秀樹氏(東京大学名誉教授/学習院大学法科大学院教授)
- 「サステナブルファイナンスの進展とガバナンス」 北川 哲雄(青山学院大学名誉教授/東京都立大学特任教授)
- 「ポストコロナ時代を見据えた経営リーダーの課題～破壊的イノベーション≒IX の時代におけるガバナンス改革～」
富山 和彦(株式会社経営共創基盤 IGPI グループ会長)

【全体監修】

富山 和彦

株式会社経営共創基盤 IGPI グループ会長・公益社団法人経済同友会政策審議会委員長。

<主な著書>『挫折力』、『会社は頭から腐る』、『カイシャ維新 変革期の資本主義の教科書』、『結果を出すリーダーはみな非情である』『IGPI 流 経営分析のリアル・ノウハウ』、『IGPI 流 セルフマネジメントのリアル・ノウハウ』、『稼ぐ力を取り戻せ！日本のモノづくり復活の処方箋』、『なぜローカル経済から日本は甦るのか G と L の経済成長戦略』、『選択と捨象』、『地方消滅 創生戦略篇』、『決定版 これがガバナンス経営だ！』、『IGPI 流ローカル企業復活のリアル・ノウハウ』、『有名企業からの脱出 ～あなたの仕事人生が手遅れになる前に』、『AI 経営で会社は甦る』など。

【コーディネータ】

奥村 昭博

慶應義塾大学名誉教授。静岡県立大学副学長、特任教授。ノースウェスタン大学経営大学院ケログスクールMBA取得、慶應義塾大学商学研究科後期博士課程満期退学。専攻は経営戦略、アントレプレナーシップ、ファミリービジネス。

<主な著書>『日本のトップマネジメント』『日米企業の経営比較』『経営戦略』他多数

内野 崇

東京大学大学院経済学研究科博士課程を経て、現在、学習院大学名誉教授。国内企業を中心に数多くのコンサルティング、研修・教育に従事。日本生産性本部経営アカデミー・トップマネジメントコース他のコーディネータ。学校法人学習院企画部長として学校改革に携わる。

<主な著書>『新版 変革のマネジメント』(生産性出版)、『企業文化・業績と強い関係』(共著論文、日本経済新聞)、『組織の経時的分析』(経済論集)、『戦略論と組織論の融合をめざして』(経済研究)『戦略型経営』(共訳、ダイヤモンド社)ほか多数。

【経営研究所とは】

経営研究所は昭和 21 年に故高宮晋先生(東大、一橋大、上智大名誉教授)によって学者と企業が共同で近代経営のあり方を研究すべく設立された会員制の非営利団体です。当時は他に類似の機関がなかったために、「経営研究所」がそのまま固有名詞となり、今日に至っております。

1996 年より故土屋守章(東京大学名誉教授)が、さらに 2010 年 6 月より寺本義也(前早稲田大学大学院教授)が引き継ぎ、2013 年 9 月まで丸の内地区を拠点に経営学及び関連学問の研究関心等、大学と企業の実務的課題を結びつける役割をはたしてまいりました。

創立以来 70 有余年、着実に発展の地歩を固め今日に至るわけではありますが、2013 年 10 月をもって改めて 21 世紀にふさわしい研究所としての基盤整備に着手し、「一般社団法人経営研究所」として再スタート致しました。

『知と実践の交流の場として、また智の発信基地』としての役割を担うなかで得た成果を、広く企業の実務において活かしていただくとともに、産業界及び学会の発展に資することを狙っています。

【参加申込方法】

年会費 1社 300,000円(経営研究所維持会員は10%割引、分納可)
*年度途中のご参加も可能です。尚、年会費はお申込み頂いた月より1年間となります。
次年度より自動更新となります。

申込方法 所定申込書に必要事項をご記入の上、メールもしくはFAXでご送付下さい。

連絡先 一般社団法人経営研究所 事務局
〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビルB1F
TEL:03-5220-2881 / FAX:03-3217-0208
E-mail:keiikenkyusho@keieik.or.jp URL:<http://www.keieik.or.jp>

会場案内図



【三菱ビルへの行き方】

- JR
「東京駅」(丸の内南口).....徒歩約3分
京葉線「東京駅」10番出口より直結
- 地下鉄
千代田線「二重橋前駅」4番出口.....徒歩約2分
丸の内線「東京駅」地下道経由.....徒歩約3分
都営三田線「大手町駅」D1出口.....徒歩約4分
東西線「大手町駅」B1出口.....徒歩約6分

2021年度 ガバナンスフォーラム 参加申込書

年 月 日

【貴社ならびに担当事務局様の情報】

会社名	
氏名 (✓をご記入ください □会員 □連絡ご担当者)	E-mail
住所 〒	TEL
属部署および役職名	

*参加は会社単位で、1社5名の会員の登録ができます。実際にご参加なさる方の氏名、所属・役職、メールアドレス等は、後日、参加者が決まり次第当方にお知らせいただければ結構でございます。

【請求書送付先】 該当箇所にて✓をご記入ください。

◆請求書発行方法	<input type="checkbox"/> 郵送	<input type="checkbox"/> PDFメール添付	<input type="checkbox"/> 郵送とPDFメール添付
◆送付先	<input type="checkbox"/> 同上	<input type="checkbox"/> 下記送付先(ご住所、氏名、ご所属、電話番号をご記入ください)	